

【議題 1-1】 JAXA の河内山理事が口火を切り JAXA の園田所長が資料 38-1-1(打上げ計画書)を 8 分程で説明した後、JAXA の河内山理事が資料 38-1-2(改良型 LE5B/新 SRB-A)を 4 分程で説明した。その後、2 分程の質疑応答があった。(JAXA は打上安全監理体制の継続性を高める為に、種子島に常駐する宇宙センター所長が管理責任者になるように変更した。)

松尾委員長:此の体制の変更の前は園田さんが責任者代理をおやりになってた訳ですか。

JAXA 園田:はいそうです。

松尾委員長:そう云う事ですか。

JAXA 園田:はい、13号と14号を。

松尾委員長:今回、それでは実質的に何か変わりますか。責任が変わったのは分かりますけど。

JAXA 園田:あの、河内山が上に居ないと云う事だと。ただ、実質的にはサポートして頂けると云う風には考えて居ります。

JAXA 河内山:責任も気持も一緒になって、是非。書いてないからと云って、何の責任も無いと、そう云う事は絶対ありませんので、キチッとやりたいと云うのが園田であり、私だと思っておりますので。

松尾委員長:キチツとしないんじゃないかって事を心配して伺った訳じゃありませんので。ええと、宜しゅう御座いますか、はいどうぞ。

池上:LE-5B の件なんですけど、此れもう大分良くなったってお話なんですけど、重さなんかには変更は無いですか。

JAXA 河内山:重さの方は其れ程、問題にするような重さではないと云う事なんですけど、当然若干重くなってます。で、問題は少し高くなってるってのが、お金の方がやっぱり。

池上:ああそうですか、分かりました。じゃあ完成度が高まったと云う風に考えて宜しいですネ。

JAXA 河内山:そうですネ。きめ細かくなると。

池上:穴が増えたんできめ細かいと云うのは分かりますけど。

JAXA 河内山:穴を増やして、噴き出すものを小さくして、数を増やしていると云う処が一番大きな変更点です。

松尾委員長:SRB の 14 号機の話は、安全側を取って、厚肉に最初はしたのが、却って剥離を呼んだって云う様な受取り方も有るんですか。

JAXA 河内山:基本的には其処ら辺のですネ、検討は必ずしも十分でなかったと云うのが後から考えて分かる話なんですけど、厚肉にしても色々考えてやっていると大丈夫、まあ、知見が其の時には無くてですネ、斯う云う経験があった後で、色々な条件で考えてみるとそう云う事になると云う形になって居ります。

【議題 1-2】 文科省の信濃参事官が資料 38-1-3(安全審査)を 2 分程で説明した後、安全部会に審議を付託する事が決定した。

松尾委員長:宜しゅう御座いますか。それでは此の件を審議付託を致したいと、決定させて頂きます。宜しくお願い致します。

池上:了解致しました。